



ウクライナへの軍事侵攻に抗議し、平和的解決を要請する声明を在日ロシア大使館、在札幌ロシア総領事館に送付しました

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

北海道総合地質学研究センター（理事長 前田仁一郎，会員数 33名）は本日（2022年3月11日）、ロシアに対し、2022年2月24日に突如開始したウクライナへの軍事進攻を一刻も早く停止し、国際世論が求めている対話と交渉による平和的解決の道に進むことを強く要請するとの声明を公表し、在日ロシア大使館、在札幌ロシア総領事館に送付するとともに、在日ウクライナ大使館にもその声明を送付し、ウクライナ市民への連帯の意思を伝えました。

その声明文（日本語，英語，ロシア語）を添付します。

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター

所在地：063-0002 札幌市西区山の手 2-3-5-24

ホームページ：<https://www.hrcg.jp/>

電子メール：office@hrcg.jp，電話：080-5830-2016

北海道総合地質学研究センターは地質学・地球物理学・土木工学あるいはその関連領域を専門とし、退職の時期を迎えたものたちによって 2016年3月に設立されました。環境問題や自然災害に直接関連する科学的研究の成果を広く市民の皆さんにお伝えするとともに、市民の皆さんの地球そのものの理解に専門家として貢献したいと考えています。現在、公開講演会“世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」と地球温暖化の接点（仮題）”の開催を企画しています。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に関する声明

2022年2月24日に突如開始されたロシアによるウクライナへの軍事進攻は、紛争の平和的解決に関する普遍的な国際合意を無視し、一方的な軍事力によって自らの主張を通そうとするものである。この軍事侵攻によって子どもを含む無辜のウクライナ国民に多数の犠牲者が出たことは耐えがたい悲劇である。このような非道な行為は、人道的見地から全く容認することができない。一方で、侵略に反対するロシア市民が多数存在するとの報道は、私たちに深い感銘と大きな希望を与えてくれる。

私たち特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターは、退職後も専門家として社会に貢献したいと考えたシニアの地質学専門家によって2016年に設立された。私たちが地質学専門家として貢献したいと考える社会においては、軍事力による紛争、侵略、あるいは戦争は完全に否定されるべきものである。

私たちはロシアに対し、一刻も早く軍事侵攻を停止し、国際世論が求めている対話と交渉による平和的解決の道に進むことを強く要請する。

2022年3月11日

前田仁一郎 理事長
特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

063-0002 北海道札幌市西区山の手 2-3-5-24
北海道総合地質学研究センター
<https://www.hrcg.jp/> and office@hrcg.jp

March 11, 2022

STATEMENTS ON THE MILITARY INVASION OF UKRAINE BY RUSSIA

The military invasion of Ukraine by Russia, which began suddenly on February 24, 2022, is an attempt to assert itself through unilateral military force, ignoring universal international agreements on the peaceful resolution of conflicts. The fact that this military invasion has resulted in the deaths of many innocent Ukrainians, including children, is an intolerable tragedy. Such heinous actions are totally unacceptable from a humanitarian point of view. Meanwhile, reports that there are many among the Russian people who oppose the invasion are deeply moving and give us great hope.

We, Hokkaido Research Center of Geology, a non-profit organization, were founded in 2016 by senior geologists who wanted to contribute to society as professionals after their retirement. In the society to which we want to contribute as geoscientists, conflict, aggression and war by military force must be completely eliminated.

We urge Russia to cease its military aggression as soon as possible and to proceed to a peaceful resolution through dialogue and negotiation, which international public opinion demands.

Jinichiro MAEDA, President

2-3-5-24 Yamanote, Nishi, Sapporo, Hokkaido 063-0002, JAPAN
Hokkaido Research Center of Geology (non-profit organization)
<https://www.hrcg.jp/> and office@hrcg.jp

11 марта 2022 года

ЗАЯВЛЕНИЯ О ВОЕННОМ ВТОРЖЕНИИ РОССИИ В УКРАИНУ

Военное вторжение России в Украину, которое внезапно началось 24 февраля 2022 года, является попыткой самоутвердиться с помощью односторонней военной силы, игнорируя универсальные международные соглашения о мирном разрешении конфликтов. То, что это военное вторжение привело к гибели многих невинных украинцев, включая детей, является большой трагедией. Такие чудовищные действия абсолютно неприемлемы с гуманитарной точки зрения. Между тем, сообщения о том, что среди российского народа есть много тех, кто выступает против вторжения, глубоко трогают и дают нам большую надежду.

Наша некоммерческая организация, Комплексный центр геологических исследований Хоккайдо, была создана в 2016 году группой старших геологов, которые после выхода на пенсию хотели внести свой вклад в развитие общества в качестве профессионалов. В обществе, в которое мы хотим внести свой вклад как геологи, конфликты, агрессия и войны с применением военной силы должны быть полностью исключены.

Мы настоятельно призываем Россию как можно скорее прекратить военную агрессию и перейти к мирному решению путем диалога и переговоров, чего требует международное общественное мнение.

Дзиничиро Маэда (Jinichiro MAEDA), президент

2-3-5-24 Яманоте, Ниши, Саппоро, Хоккайдо 063-0002, ЯПОНИЯ

Исследовательский центр геологии Хоккайдо
(Hokkaido Research Center of Geology, non-profit organization)

<https://www.hrcg.jp/> и office@hrcg.jp

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターのご紹介

1. 設立年月日および役員

北海道総合地質学研究センター（英語表記：Hokkaido Research Center of Geology）は北海道内外の大学や研究機関、教育機関、企業などで地質学の研究・教育・実務などに従事し、退職の時期を迎えたものたちと迎えつつあるものたちによって2016年3月1日に設立。

理事長 前田仁一郎 (MAEDA Jinichiro: maedajin@hrcg.jp), 副理事長 嵯峨山 積 (SAGAYAMA Tsumoru: tsaga@hrcg.jp).

2. 設立目的など

- (1) 会員が退職後もそれぞれの創造的活動を意欲的に継続するための環境を用意すること
- (2) 会員それぞれが培ってきた地質学の専門性を活用して社会に貢献するための環境を用意すること
- (3) “退職者の、退職者による、退職者のため”の研究センターとして出発しており、所謂「人生 100 年時代」における退職者のアクティブな生き方を試行すること
- (4) 「官」・「民」ではない「公」の立場である NPO として、大学・研究機関、教育機関、民間企業、行政、市民個人などが単独では解決が困難な地質学・地球科学に関連する社会的な課題に対応し、またそれらの間の媒介的役割を果たすこと

3. 構成員

特定非営利活動促進法上の「社員」に該当する正会員は2022年4月現在で19名。大学教員を退職したものの8名、国立/公立研究機関・自治体博物館退職したものの5名、学校教育機関を退職したものの3名、地質コンサルタント系企業の退職者6名など。その内、博士号所持者が13名、技術士所持者が2名。院生・学生会員1名（詳細は <https://www.hrcg.jp/outline.html>）。

4. 主な事業・活動

4-1. 創造的活動を意欲的に継続するための事業

研究セミナーの開催

会員の創造的活動の成果（研究成果など）の発表・討論を目的として3ヶ月に1回程度実施。会員外にも公開されている（詳細は <https://www.hrcg.jp/open.html>）。

アクセスフリーの学術雑誌「総合地質」（オンライン版 ISSN 2433-7161、プリント版 ISSN 2435-2187）の発行

会員・非会員の研究成果や研究資料などの公表を目的として年に1回程度発行。1巻1号を2017年12月15日に発行し、現在5巻1号まで発行（https://www.hrcg.jp/generalgeo_currentvolume.html）。掲載論文は国立研究開発法人科学技術振興機構や産総研「地質文献データベース」などの文献データベースに収録される。

現在検討中の事業

- ・学術シンポジウム「北海道島とその周辺域における地質学研究の到達点と今後の課題（仮題）」の定期的開催

・基本的研究機器を運用するための実験スペース、図書・文献収納スペース、会議スペースをもつ簡易研究施設の構築。現在はバーチャル・分散システムとして運営されているが、将来的にはリアル・集中システムへの移行を目指す。

4.2. 地質学の専門性を活用して社会に貢献するための事業

市民向け公開講座の開催

地質学・地球科学の最先端のみならず身近な場所に潜んでいる地学の面白さを紹介するとともに、自然災害から身を守るために有用な地学の基礎知識を提供するための講座など、多様な講座を開催予定。北海道教育委員会主催の道民カレッジ連携講座の指定を得る。第1回公開講座「札幌の失われた川を歩く」を北海道教育委員会主催の道民カレッジの連携講座として2017年10月に実施。2018年5月-9月に第2回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」(野外観察会1回を含む6回シリーズ)を実施(詳細は<https://www.hrcg.jp/open.html>)。

各種講演会・セミナー・講義などに会員を紹介、TV番組制作への助言など

北海道内の教育関係の研究会の講師、大学の非常勤講師の紹介、TV番組制作者への助言・出演(NHK ブラタモリ)など

現在検討中の事業

- ・地質コンサルタント系企業、自治体、博物館、小・中・高等学校などの実務者、公務員、学芸員、教員などを対象に、専門的講座の開催
- ・博物館などとの共催で小・中学生対象のサマーキャンプの開催
- ・高等学校のスパークサイエンスハイスクールおよび地学オリンピック活動などへの助言事業
- ・博物館を対象に展示などへの助言事業やジオパーク運動などの支援・助言事業
- ・自治体への助言・コンサルティング事業(例えば〇〇町の中に北アメリカプレート・ユーラシアプレート境界を探すなどといった)
- ・大学等で不要になった備品類の有効利用の方策

5. 所在地・連絡先など

所在地

063-0002 札幌市西区山の手 2-3-5-24

ホームページ

<https://www.hrcg.jp/>

連絡先 *

電子メール: office@hrcg.jp

電話: 080-3296-8848



* 地質学・地球科学に関連する問い合わせ等に対応しています。